

1年間の目標	取組の内容	
	具体的な方策	評価の観点
<p>(1) 中高一貫の特長を生かし、意欲や探究心を高め、多様なニーズに対応できる教育課程の開発を行う。</p> <p>(2) アクティブ・ラーニングの手法を取り入れ、生徒の主体的な学習により新たな学力の育成を図るための授業研究に取り組む。</p>	<p>(1) 新学習指導要領及び大学入試改革を見据え、多様なニーズに対応できる教育課程の検討及び検証。</p> <p>(2)-a アクティブ・ラーニングの手法を多く取り入れ、生徒の主体的・対話的な学習活動を実践する。</p> <p>(2)-b 卒業（課題）研究をさらに発展させるため、学習方法、形態を工夫し、より一層効果的な実施を目指す。</p>	<p>(1) 新学習指導要領及び大学入試改革に向けた教育課程編成について検討できたか。</p> <p>(2)-a 「主体的・対話的で深い学び」を実践する割合が昨年度よりも増加したか。</p> <p>(2)-b 生徒が課題研究や卒業研究を活かし、物事の本質に向き合い、自らの問いを自ら解決しようとする事ができたか。</p>
<p>(1) 生徒の特性を多面的に理解するため、情報の共有と外部機関との連携を推進する支援体制を充実させる。</p> <p>(2) 生徒の規範意識を高め、母校に対する誇りを持たせることにより、社会のリーダーとしての人格を育成する。</p>	<p>(1) 生徒の特性を多面的に理解するため、情報の共有と外部機関との連携を推進する支援体制を充実させる。</p> <p>(2)-a 生徒の規範意識を高め、母校に対する誇りを持たせることにより、社会のリーダーとしての人格を育成する。</p> <p>(2)-b 道徳の授業、LHR、委員会活動を通じ、生徒の規範意識を高める。</p>	<p>(1) 課題を抱えている生徒に対して、適正回数ケース会議等を開催できたか。スクールカウンセラーと定期的に情報を共有できたか。</p> <p>(2)-a 自主的に行動する生徒が増加したか。</p> <p>(2)-b 生徒の規範意識を高める活動ができたか。</p>
<p>(1) キャリア教育実践プログラムを検証し、多彩な体験活動を充実させ、豊かな人間性や社会観・世界観を備えたリーダーを育てる。また、生徒が意欲的に進路を考えるような取り組みを進める。</p>	<p>(1)-a 多彩な体験活動を効果的に実施し、自分の将来像を具体化させると共に、学校行事、部活動等を通じて自主自立の精神を備えたリーダーを育成する。</p> <p>(1)-b 進路説明会、講演会、大学模擬授業などの行事や講習、模擬試験等を効果的に実施し、生徒の進路に対する意識を高める。</p> <p>(1)-c 生徒が自分の学力を測り、向上させる手段として、生徒の学力や希望に合わせた講習や模擬試験を実施する。</p> <p>(1)-e PTA等との連携等により、キャリアプランニング能力を育成する活動を行う。</p> <p>(1)-f 学校行事、委員会活動、部活動において生徒の自主性を尊重しながら課題発見・課題解決に取り組ませ、自主自律の精神及びリーダー性を備えた生徒の育成を図る。</p>	<p>(1)-a キャリア教育実践プログラムに育てたい「3つの力」を位置付けると共にルーブリックに対する活動プログラムが構築されたか。</p> <p>(1)-b 様々な取組を通して進路に対する意識が高まったか。</p> <p>(1)-c 進路指導アンケートの満足度が70%以上あるか。</p> <p>(1)-d 生徒の学力や希望に合わせた講習及び模擬試験の分析結果を活用した学習指導・進路支援ができたか。</p> <p>(1)-e キャリアプランニング能力を育成する活動ができたか。</p> <p>(1)-f 自らの役割を自覚し、主体性およびリーダー性を発揮できたか。学校行事等を生徒が主体的に企画・運営できたか。</p>
<p>(1) 地域との協働・連携により生徒の活動を広げ、地域社会に貢献する意識を高める。</p>	<p>(1)-a 学校HPの充実を図るため、情報収集の方法を改善する。</p> <p>(1)-b 学校紹介パンフレット「school guide」の内容を見直し、効果的なデザインの工夫をする。</p> <p>(1)-c 地域・保護者と連携した防災への対応準備を行う。</p> <p>(1)-d 挨拶の励行を目的としたあいさつ運動を実施するほか、学校周辺の清掃活動を通して地域に貢献する。</p> <p>(1)-e 大原小学校及び平塚ろう学校との連携・交流を深める。</p> <p>(1)-f 平塚盲学校との連携を図るため、盲学校への訪問の機会を設ける。</p>	<p>(1)-a 学校HPの情報収集方法を改善できたか。</p> <p>(1)-b 「school guide」の内容の見直し・デザインの工夫はされたか。</p> <p>(1)-c 地域自治会と避難所運営等に関する課題の確認ができたか。</p> <p>(1)-d 挨拶・清掃活動等を通して地域に貢献することができたか。</p> <p>(1)-e 大原小学校及び平塚ろう学校との交流を更に充実させ連携を深めることができたか。</p> <p>(1)-f 盲学校への訪問ができたか。</p>
<p>(1) 事故不祥事防止を徹底し、教職員の意識啓発や資質の向上を図る。また、職員の見解が企画に反映されるような職場づくりを推進する。</p> <p>(2) 日常における防災意識の向上を図り、緊急時の対応力や地域に貢献できる力を育成する。</p>	<p>(1)-a 業務環境を整えるとともに、各業務に関する詳細なマニュアルが適切であるか検証する。また、職員間の情報共有を推進し、事故防止に努める。</p> <p>(1)-b 業務を整理し、全体で業務環境の検討・整備を行う。</p> <p>(1)-c 教員間の情報共有を推進し、事故防止に努める。</p> <p>(2) 防災マニュアルを改善し、災害時のより迅速な対応を可能にする。また効果的な防災訓練により生徒・職員の防災意識を醸成する。</p>	<p>(1)-a 各業務についてのマニュアルは適切であるか。適切に業務を遂行できたか。</p> <p>(1)-b 全体で業務環境の検討・整備を行うことができたか。</p> <p>(1)-c 教員間の情報共有を推進し、事故防止に努めることができたか。</p> <p>(2) 年度ごと最新の防災マニュアルに更新し、防災意識や対応力の育成ができたか。</p>